

令和7年度第1回三重県観光誘客推進会議 概要

1 開催日時：令和7年4月22日（火）15時10分から15時25分まで

2 議事概要：以下のとおり

（生川観光部長）

今年度第1回目の県観光誘客推進会議を開催する。本日の会議では、三重県観光振興基本計画に基づく令和7年度のアクションプランの案について確認いただくとともに、式年遷宮に向けた庁内の取組について報告する。なお、2点の議題について説明が終わった後、質問や意見をまとめていただく時間を設ける。それでは、事務局から2つの議題について順次説明させていただく。

※資料1・資料2・資料3について、事務局（高濱観光部副部長）から説明。

（生川観光部長）

まずは、7年度アクションプランの案について、質問や意見はあるか。

（松下雇用経済部長）

アクションプランが出来上がってきたということで、これをいかに実行していくかというところが大事になってくる。雇用経済部としては、三重テラスと大阪・関西万博を舞台にして、しっかりと取り組んでいく。万博については、4月13日に開幕して、本日で10日目となった。昨日21日の時点で2万7,843人と多くの方に三重県ブースに来場していただいた。こうしたことを契機に、しっかりと三重県の魅力をPRして、県への誘客につなげていく。

（一見知事）

アクションプラン副目標1の紹介意向率は見直した方がよい。「大変そう思う」の数値を取り上げているが、「あまり思わない」や「思わない」、「全く思わない」を合計しても1.2%となるので、三重県を紹介したくないと思っている人は1.2%ということになる。さらに、「大変そう思う」は33.5%だが、「そう思う」と「やや思う」を足しこむと83.5%となる。この33.5%という数字がミスリーディングになる可能性があるため、表記の方法を考えた方がよい。現在の表記では、例えばメディアの方が三重県を紹介したいと回答した観光客の割合は33.5%だけだと誤解する恐れがあるため、実際には83.5%の方が紹介したいと回答していることを行政側で説明する必要がある。したがって、この点は考え直した方がよい。

（生川観光部長）

それでは、三重県観光振興基本計画（令和6年度～令和8年度）に基づく令和7年度アクションプラン（案）については、知事の意見も含め、少し事務的に整理をしたうえで策定とさせていただく。続いて、式年遷宮に向けた庁内の取り組み

について、意見や質問はあるか。

（小見山政策企画部長）

先ほどの説明にもあったが、今年度は式年遷宮の行事、例えば山口祭から始まり、令和8年度には第1次お木曳行事が予定されているということで、本格的に御遷宮を目指した取組や行事が進んでおり、これらを契機にいろいろな部局でプロモーションや情報発信が様々な場で予定されていくと認識している。政策企画部では、各部局がどのようなイベントが、どのような時期に行われ、どのように連携できるかを取りまとめて提供していくので、しっかり観光部と連携しながら情報を収集し、この取組を促進していきたい。

（松下雇用経済部長）

先ほども万博についてはお話ししたが、小見山政策企画部長からも話があったイベントについては、三重県ブースの中で5月29日から6月18日には内宮正殿鯉木の特別展示を実施するほか、9月22日に万博の会場の中で祭りをテーマにした催事が行われ、お木曳車を出していただく。そうした様々な御遷宮絡みの行事の中で、政策企画部や観光部のもとでしっかり連携しながら取り組んでいく。

（生川観光部長）

それでは、最後に知事から発言をいただく。

（一見知事）

まず、とりまとめをしていただいた観光部ありがとうございました。インバウンドについては、昨年度は回復率が47位だが、令和7年1月分を見ると全国40位ということで多少上向いてきている。これは県内の観光業界の皆さんのご助力と、それから観光もよく頑張ってくれている。昨日、岐阜県知事と一緒に東京で要望活動してきたが、岐阜県の回復率は全国9位。名古屋からの距離は例えば高山と伊勢志摩ではそれほど変わらないような気がするが、なぜ岐阜は9位で、三重県は47位なのかということは、しっかりと考えていく必要がある。岐阜には伊勢神宮という、日本人は必ず一生に一回は来るといえるようなものが高山にはないにも関わらず、その逆境というか、ハンディを跳ね返そうということで頑張った結果ではないかと推測する。三重県は、こんなにいいものを持っているので、頑張ればさらにいい数字になってくると思う。

1点目、インバウンドに関して言うと、戦略をつくろうということで、今観光部で動いてもらっているので、それをしっかりと進めていただきたい。

2点目、先ほど雇用経済部長からも話があったが、万博が開催中。先日、ある地域の方と話をしていたら、万博に行ってきたと。関西パビリオンにも行って、三重県ブース、メディアには批判的なことも書いてあったが、私はいいと思うというふうに言っていて、そう思っていていただいている県民の方もおいでになるというこ

とで、非常に心強い。これは地域連携・交通部や、それから観光部が本当によく頑張って、交通事業者と連携した企画きっぷを導入してくれている。ブースに行っていていただいていいねとおっしゃっていただくのも大事なことだが、実際に三重県に来てもらうともっといいので、誘客にぜひ取り組んでいただきたい。

それから、3点目、いよいよ式年遷宮が始まる。令和7年には間もなく山口祭から行事がスタートするので、これ観光部内にもチームをつくってもらっており、それから全庁的にワーキンググループでやってもらっているのも、機運の盛り上げも含めて頑張っていていただきたい。

（生川観光部長）

各部局におかれましては、知事指示事項を踏まえ、引き続き観光誘客に取り組んでいただきたい。これで第1回の三重県観光誘客推進会議を終了する。